

## 全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		図画工作	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第1学年	○読み解く力（解決する力） ・はさみやのりなどの用具を思い通りに操作できない児童もいる。 ・友達の作品のよさや自分との違いに気付くことができるようになってきた。	○読み解く力（解決する力） ・場と時間を保証し、様々な材料に触れる経験を積み、用具の使い方を身に付けさせる。 ・素材をさわる、握る等の直接体験を多くさせるとともに、粘土や工作などで三次元の感覚をつかむ経験を多く取り入れる。	
第2学年	○読み解く力（解決する力） ・アイデアを表現するために、材料の使い方やはさみやのりの扱い方などを体験することが必要である。 ・友達の作品のよさや自分との違いに気付くことができるようになってきた。	○読み解く力（解決する力） ・材料や用具の使い方を正しく覚え、そのよさを生かしていけるよう、教材を準備しておく。 ・作品を鑑賞する時間を持ち、友達の作品のよさやおもしろさに気付けるようにする。	
第3学年	○読み解く力（解決する力） ・発想が広げたり、表現を発展させたりすることに課題が見られる。	○読み解く力（解決する力） ・児童が意欲を持続させ、最後まで集中して取り組むことができるように素材や表現方法を工夫していく。 ・作品ごとに鑑賞し合う時間を設定し、友達の作品のよさに気づき、学び合うことができるようにする。	
第4学年	○読み解く力（解決する力） ・様々な用具や表現方法に対しての関心は高いが、表現したいことに合わせて使い方を工夫するという点に課題がある。	○読み解く力（解決する力） ・学んだことを試すことが好きな4年生のよさを生かし、授業の中に身に付けたことを活用できる活動を設定し、自分の成長を感じながら表現したいことに合わせて用具や方法を工夫して表現する力を高める。	
第5学年	○読み解く力（解決する力） ・落ち着いて取り組むことができているが、試行錯誤を通じた表現の追求に課題がある。	○読み解く力（解決する力） ・児童の関わり合いに対する積極性を生かし、授業の中に対話する活動を設定し、表現の多様性や広がりへの関心を高め、表現を追求しようとする力を高める。	
第6学年	○読み解く力（解決する力） ・新しい表現や用具、方法などへの関心は非常に高いが、試行錯誤を通じた表現の追求に課題がある。	○読み解く力（解決する力） ・自分のペースで考えや表現を深めることができるように授業の進度に柔軟性をもたせるとともに、試行錯誤しながら表現を追求する造形遊びを設定する。	